

向日市 広報

まちのうごき

(12月1日現在)	(11月中)	
世帯数 14,979世帯	生れた人 166人	
人口 50,370人	亡くなった人 25人	
男 25,020人	転入した人 276人	
女 25,350人	転出した人 341人	



あけまして
おめでとう
ございます



市民みんなで実り豊かな80年代に

市民のみなさんあけましておめでとうございます。八十年代の幕開けの新春を、ご家族おそろいでお迎えになったことと、心からお喜び申し上げます。

私は昨年四月、市民のみなさんの絶大なご支援によりまして、二期目の市政を担当することになり、清潔で明るい市民本位の市政の確立をめざして、本市発展のため、誠意と勇断をもって、最大の努力をいたしました。これひとえに市民のみなさんの日頃の市政に対するご協力の賜と心より感謝申し上げる次第でございます。

願いますと、内外の政治、経済情勢は複雑多岐をきわめわが国の経済はもとより、地方財政も終始きびしい状況におかれました。しかし、緊縮財政の中での市政運営を余儀なくされたにもかかわらず、多くの市民のみなさんのお力添えを得て、本年四月の開校をめざして第6向陽小学校の建設に着手し、また念願の公共下水道も一部地域で供用開始できたことは大きな喜びでした。ここに厚くお礼を申し上げます。

一方、近年の都市化の伸展に起因する自然破壊や、生活環境の悪化、人間性の疎外の傾向などに対応する施策の必要性に迫られ、現代、まさに大きな転換期にさしかかっており、市政もまた地方の時代と呼ばれるような新たな局面をむかえようとしています。

私たちは、今こそ、来たるべき二十一世紀をめざす新しいまちづくりに取り組むべきであると存じます。私は、市民憲章の精神を生かし、心のふれあいを大切にした施策を市民と行政が一体となすすすめ、人間尊重のまちづくりを推進することが、この八十年代に必要なことと考えます。

私たちの向日市は、長いくらしの歴史を持ち、美しい自然にも恵まれています。この環境を守り育てながら、豊かな市民生活の基盤を確立するために、都市計画事業の推進下水道事業の拡充、市民の相互理解と連帯感を高めるコミュニケーションの場としての市民体育館の建設、市の玄関口である駅前周辺の整備など、市民生活優先の施策を積極的に推進し、また京都南部都市広域行政圏の施策として都市基盤整備事業などにも取組み、福祉と文化と教育に重点をおいた公害のないまちづくりに全力を尽くしてまいりますと存じます。

年頭にあたり、今後とも市政に対するみなさんのご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年も向日市にとって、また市民のみなさんにとりましてもよい年でありますようにお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

向日市長 民秋徳夫